



香芝市国際交流市民の会

グローバル香芝

The International Exchange Society, "Global Kashiba"

あの留学生は今…⑤

今回は、2010 年秋より大阪教育大学に留学されていたフランス人ミリアムさんからのレポートをお届けいたします。日本や着物が、こうしてマンガによって海外に伝えられているのは興味深いですね。震災後、本国からの勧告により帰国せざるを得なかった他の留学生共々、また日本に戻って勉強を続けられたらいいですね。

-着物について-

フランスで「着物」と言ったら、まず「日本」のことを思っています。確かに、着物は日本の伝統の服です。そして、今は少しでも着ている服です。

フランス人が「着物」と聞いたら、どんなことを思っているのか、一緒に見ましょう。



フランス人にとっては、着物が古い日本の伝統と技術を表現します。色々な素描と強烈な色が付いているきれいな服です。そして、頭にくる当たり前な言葉は絹と刺繍です。実際、特に昔に城に住んでいた女性が着られた高く、きれいな服でした。

着物は芸者と侍のことを思い出せるので、また、古い日本についてを考えています。そして、着物は男性より女性の服だそうです。あるフランス人にとっては、武術の着物は男性の着物で、刺繍の着物は女性の着物だそうです。

しかし、着物を着るのはとても美しく、色々な強烈な色と素描が付いても、着物を着るのは厳しそうです。それは確かだと思います。私は着物を着たことがあります、この考え方が分かります。帯が胴体をしっかりと掴まわっていて、呼吸することが難しく、着物の形のせいで自由に動けないのです。歩きにくいです。

そして着物は古い芸術を呼び覚ます。フランス人は能や文楽について考えます。人形と俳優が着物を着ているからです。また、生け花や茶道や、古い日本と強い絆を持っているものを思い出します。

着物に興味をあまり持っていないフランス人は着物を聞いたら、「マンガ」が頭にきました。

確かに、フランスではマンガはとても有名ですから、日本の文化に興味があっても、マンガの読者は着物の形を知っているはず。絵と面白いストーリーを使って、マンガは外国人に日本の伝統を知らせる方法です。日本の物語や、祭りに人は着物を着ているのです。ですから、古い日本である物語のマンガや(るろうに剣心)、武道のマンガや源氏の世界である物語のマンガ (Love Hi

na)のおかげで、着物については少しでも知っていることなんです。

(ミリアム・ボッシュ)



この折紙の着物は私が作ったものです。レポートと一緒に出したかったのですが、今は難しいことなので、写真しか送られません。



◆ 香芝市在住外国人数 19ヶ国 459名

2011年7月1日現在

アメリカ:3 イギリス:2 インドネシア:2 オーストラリア:6 韓国:257 シンガポール:2 タイ:17 タジキスタン:1 中国:111 朝鮮:9
ネパール:1 パキスタン:8 パラグアイ:1 バングラディッシュ:4 ブラジル:10 フィリピン:19 ベトナム:4 ペルー:1 ロシア:1

◆2011年 春季ホストファミリー交流会◆

5月14日(土) 午後1時半から 香芝市総合福祉センター3階 第1会議室において開催されました。

白鳳女子短期大学と大阪教育大学の留学生17名(女性15名、男性2名)(モンゴル4名、中国7名、韓国、ベトナム、ネパール、ミャンマー、タイ、フィジー各1名)と、市民36名(大人24名、子供12名)、グローバル香芝会員11名、総勢64名が参加しました。

緊張していた学生さんたちは、ホストファミリーに紹介され10分ほどのおしゃべりで笑顔一杯。約一時間半の交流会は、賑やかな会話とゲームで盛り上がりました。私たちグローバル香芝のメンバーは、新しくファミリーとなった市民の皆様と留学生の背中を嬉しい思い一杯で見送りました。

最近では、お子さんの国際交流への初めの一歩になればというご両親の考えで、このプログラムに参加される市民の方々が増えてきました。

午後からのマッチングで約半日のプログラムですが、それぞれのホストファミリーの計画は様々です。お子さんのお稽古に一緒に行ったり、お買い物や神社仏閣の見学。

夜の食事のため食材のお買い物から調理まで一緒にして、食卓を囲んだり。留学生の皆さんの感想を読むと、本当に皆さん楽しんでます。これもこのプログラムに賛同していただいた市民の皆様のお陰と感謝しています。

一度ホストファミリーを体験された市民の皆様は、何回も参加して心強いサポーターになってくださいます。多くの新しい出会いに、私たちもコーディネーターとして幸せを感じます。(山下)



ホストファミリー参加者のアンケート

大阪教育大学 留学生 李文昊

今度のホストファミリーは本当に楽しかった。

本当に家に帰ったみたいだ。おだやかな両親とおとなしい柴犬の“さくら”と一緒に過ごした一日は癒された一日だ。

ファミリーと過ごした間、人との付き合いや、生活についていろいろなアドバイスをもらった。

本当に、家族のように、この不器用な娘を心配していた。その場にいた私は、すごく感動して、無償の愛を感じた。

お母さんの料理もおいしかった。実際、私はすごく偏食で、普段は肉ばかり食べていた。しかし、お母さんが作った野菜はおいしかった。しっかり私の胃袋を掴んだ。

あとは、家の中、手芸品が置いている。全部はお母さんの作品と聞いたとき、うれしかった。私も手芸が大好きで、今後も、お母さんのところを通して、手芸のことを勉強したい。



◆ スポーツ交流に参加して ◆



5月8日は、素晴らしい天気にも恵まれた、少し汗ばむ初夏のような一日でした。

会場の白鳳女子短期大学は、西大和ニュータウンの西北に位置し、自然環境にも恵まれた学校でした。

このスポーツ交流は、『グローバル香芝』が主催する、毎年恒例の国際交流行事です。参加者は、54名で、白鳳女子短期大学と大阪教育大学の留学生30名(教職員1名を含む)、一般市民5名(ホストファミリーを含む)とグローバル香芝の会員19名と言う内訳でした。



スポーツ交流のイベント内容は、ドッジボール、昼食会、魚釣りゲームなどでした。1つ印象に残ったのは、ドッジボール競技で、枠内の者が相手ボールに当てられると、枠外に退出しますが、枠内の相手にボールを当てると、再度枠内に復帰できるというルールが、留学生には不思議だったようです。将棋でも

そうですが、相手に取られた駒は、相手の駒として活躍します。このルールは、西洋のチェスにはありません。敗者復活と言う日本文化の良いところかも知れません。

昼食は、サンドイッチやおにぎりと、フライドチキン等のオードブルが付いて、留学生も美味しそうに、食材を頬張っていました。また、魚釣りゲームは、ひらがなの書かれたカードを床に広げて、磁石の付いた釣竿でカード



を吊り上げて、日本語の単語をビンゴゲーム形式で完成させると言うゲームです。ゲームの勝者等には、プレゼントがもらえるチャンスがあり、プレゼントを手にした学生達は、満面の笑みを浮かべておられました。留学生達の笑顔を見ていると、少しは国際親善のお役に立てたかなと思っています。(木村)

◆ 国際料理レシピ(インド料理) ◆

2月28日開催されました人気の「国際料理教室」。講師は、インド・デリー出身のシャリマ キマ ナンドさん。ナンドさん(インド料理店 PUJA シェフ)の、キーマカレー(8人分)の作り方をご紹介します。

<材料>

鶏ミンチ	200g	豚ミンチ	200g	卵(ゆでる)	4個
水	500cc	ニンニク	2片	生クリーム	100cc
油・バター・トマトピューレ・しょうが					



▼スパイス

クミン	小さじ2	ターメリック	小さじ2	グランマサラ	小さじ1	キングマサラ	小さじ1
コリアンダー	小さじ2	パプリカ	少々	チリパウダー	好みで		

<作り方>

- ① たまねぎ、しょうが、ニンニクをみじん切りにする。
- ② 卵に塩を入れてゆでる。
- ③ 油大さじ3で①をいためる。
- ④ ②にミンチを入れて、更にいためる。
- ⑤ ③にお湯をいれる。
- ⑥ ④にすべてのスパイスを入れる。
- ⑦ 味見をしてから、塩コショウを加える。
- ⑧ ゆで卵を入れて、少し煮る。



メンバーひとりごと -39-

「濱野さんは早くから子供さんたちを海外のホームステイに出したり、逆に外国人の子供を受け入れ
たりされる、家族ぐるみの国際交流に理解のある方です。現在はホストファミリー一部副部長として活躍中です」



“老後の楽しみ”

濱野順子

今年の秋に孫が生まれます。3人目なのですが、この子は3つの国籍をもつことになる
ようです。父の国オーストラリアと母の国日本、そして出生地のカナダ。

6年前にグローバル香芝に入会していろいろな国の留学生にいろいろな話をきかせて
もらいました。今までテレビの中やニュースでしか知らなかった国々の文化や生活の一
瞥、新鮮な驚きを感じたり認識を新たにしたりしてきました。しかし振り返ってみ
ればその人の国籍を聞いて半分くらいわかったつもりになっていたような気がします。中国人だから
・・・だろう、ネパール人だから・・・なはずと。

誰もが多様な文化を背景にそれぞれの環境の中で育ち、考え、歩いていく。国籍はそのなかの
一部にすぎないのでしょうか。3つの国籍を持って生まれてくる孫はどんな風に育つのでしょうか。とて
も楽しみです。大人になった時、世界をそして日本をどう感じるのでしょうか。どんな話を聞かしてく
れるのでしょうか。私の老後の楽しみです。

※次回は 能川雄一郎さんです

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。
語学力や国籍に関係なくどなたでも入会することができます。

〈会費〉 個人会員 年間 3,000円 / 賛助会員(団体) 年間 10,000円

〈月例会〉 10:00~12:00 ふたかみ文化センター 8/16(火), 9/21(水), 10/18(火), 11/16(水)

◆ 申し込み・問い合わせ先

香芝市役所 市民協働課内事務局: 坪内、福岡 (Tel:0745-76-2001 内線 173, Fax:0745-78-3830)

グローバル香芝: 金藤 恭子 (Tel 0745-78-8574) または 近藤 正彦 (Tel 0745-76-5313)

e-mail: nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp までお気軽にどうぞ!

◆ ホームページアドレス <http://global-kashiba.matrix.jp>

<編集後記>

・前号で書きました接触事故の後始末は、36万円の
修理費は保険でカバー、保険会社から1万円の見舞
金、今年の保険料アップは無し、と「不幸中の幸い」で
決着しました♪(YT)

・先日NHKのためしてがってんの放映を見ました。中身は食
事は腹八分目とすること。一口30回の咀嚼の励行が食べ
ぎを回避してくれダイエットにも繋がるとか-あやかりたい
(A.H)

・東日本大震災から3ヶ月余り、福島第一原発の震災も重
く復興の阻みになっている。本当に大切なものは基本で
す!(KK)

・91才の主人公が死を迎えるまでの物語、「木漏れ日の家
で」を鑑賞した。人間と犬が互いに支え合って生きる。老犬
フィラの演技は素晴らしく、後半ドブラーの田園協奏曲が
家と住人の心の揺れ動きを見事に表現していた。(S T)

・震災チャリティーイベント計画中。グローバル香芝でも何
かしませんか?(JS)

編集発行 : グローバル香芝・広報部会

事務局 : 〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所 市民協働課内
Tel : 0745-76-2001(内線 173) Fax: 0745-78-3830